

おむすび たかしま

2016
WINTER
平成28年1月発行

30

高島市協働提案事業を
ご存知ですか？

Pick
Up!

来年度実施される協働提案事業の審査会が昨年11月16日に実施されました。「廃校を活用して都市と山村の子ども達の交流をしたい」「発酵食品と高島の食材を家庭料理に取り入れてほしい」「旧今津郵便局を活用し、ヴォーリズ通りに賑わいを取り戻したい」「プラスチックボトルの分別を市民の力で普及したい」など、市民の視点と専門性を活かした事業が提案されました。市民が行政と協働することで、信頼性を高め、多くの市民の参加にもつながり、区・自治会との協力も進めやすくなる面もあります。一方、行政は市民の提案から新しい地域課題を知る機会となり、市民の柔軟さや素早い対応を活かして事業を実施することができます。

協働事業は、市民と行政が話し合いを重ね、次の6つを確認しながら進めていきます。

1. 市民と行政は対等なパートナー
2. 市民、行政、それぞれの特性を理解して力を発揮する
3. 事業の目的を十分に話し合い、共有して目標を立てる
4. 役割分担と責任を明確にする
5. 協働の進め方や進捗を情報公開する
6. 市民、行政どちらも事業評価し、よりよい協働に活かしていく

協働提案事業をお考えの方は、たかしま市民協働交流センターへご相談ください。

高島市 市民協働課

連絡先 高島市新旭町北畑565

TEL 0740-25-8526

FAX 0740-25-8156

E-mail

kyoudou@city.takashima.lg.jp

発行

たかしま市民協働交流センター

いろいろやっています！ in たかしま



どんな色にも染まる、持続可能な仕組み！

平成9年の新旭養護学校の開校と同時に、重度のハンディを持つ卒業生が通える所「作る会」として始まり、その後、県事業として在宅重度障害者の通所施設「ほほえみはづす」が開所。平成12年、障害種別を問わないという想いを込め【湖西の障がいのある人を応援するくれよんの会】へ改名しました。

姿や言葉は、若いお母さんの支えと安心になる。これからも若い人を巻き込んでつないでいきたい」と話す代表の澤井さんの笑顔が印象的でした。



月1回の定例会や研修会、福祉団体等の小さな施設整備の助成事業のほか、市内事業者の協力で、週1回『ほほえみ卵』を市内で販売。この安定した資金確保と2年の任期で会長が変わる仕組みは、多くの市民団体のモデルとなる持続可能なすばらしい仕組みだと感じました。また、実行委員会主催の障がいのある子ども達のための余暇支援活動「高島サマーホリデー」への参加などを通じて、近年、会員が倍増。年齢の幅も活動も広がっています。

湖西の障がいのある人を 応援するくれよんの会

代表 澤井 直美
※平成28年3月まで
設立 平成12年(2000年)
会員数 39名
連絡先 高島市新旭町太田 2285-2
TEL 090-3717-8959

熟年、元気にカッコよく

極楽トンプボのまちづくり

平成2年、新旭町により琵琶湖沿岸6kmにソメイヨシノ桜654本が植樹され、市内外の多くの人を魅了してきましたが、平成18年頃には、花が咲かない木が多くなっていました。そこで、平成20年4月、咲かなくなった桜を心配した5人が集まり、ボランティアグループ【トンプボとその仲間たち】を設立しました。

『さくら守隊』では、4月の開花調査や春・冬の施肥、てんぐ巣病等の枝切り、土壌改良、根の発育促進、研修会等続け、活動当初は、枝全てに花が咲く木が全体の37%しかなかったが、平成26年春には95%の木で桜の花が咲くようになったそうです。

その他、平成23年には、毎週火曜日に琵琶湖岸の清掃活動をする『B-WAKOおそうじ隊』、その翌年には、中高年の生きがい・健康作りなどを目的としたサロン『グループ赤とんぼ』を毎月2回開催するなど、現在は3つの部会で「極楽トンプボ

いに、無理をせず、楽しみながら」を motto に活動を続け、会員はなんと98名！若い人の参加も大歓迎だそうですよ！



トンプボとその仲間たち

代表 大石 幸夫
設立 平成20年(2008年)
会員数 98名
連絡先 高島市新旭町針江 2-27
TEL 0740-25-5848

たかしまの

元気!

企業

琵琶湖の源流を守る誇りと
山の恵を余すことなく使う林業

栗本林業代表 栗本慶一さん

栗本慶一さんは、遡れば江戸時代から続く栗本家の5代目。朽木の山の暮らしをお聞きすると、「昔は、山で炭を焼き、農地で米を作り、木を切り出し、子牛を肥育し、鶏を飼い、漆の木を植えて漆かき職人に仕事をだし、下駄問屋もしていた。地域の資源を活かした持続的な暮らしだった」とのこと。地域の気候風土に合った多角経営的な暮らしが、戦後の経済成長の中で変化していきました。林業を継がれた昭和40年の頃は、高く売るためにどんどん注文を受け、約10人の職人を雇い、ひたすら木を切り出す日々だったそうです。

昭和63年、山で大怪我を負い、リハビリの一年間、全国の林業地、林業家を訪ね歩き、その土地の気候、文化、伝統の上に、その土地に合った技術があることに気づき、地域のことを学ぶ大切さに気づかれたそうです。受け継いだ山の歴史を知ると、祖父が結婚した時に植樹した山、子どもが産まれた時に植樹した山、孫の事まで考えて植樹され、育てられてきた山々ばかり。1本ずつ大切にいただこうと考えるようになったそうです。曲がった杉は曲がり梁として強い家になる。間伐材も皮を剥ぎ、適正に乾燥させて山から下るせば価値がある。木の個性に合わせた使い方を考え、無駄を出さずに使われています。「地域の木材で家を建てる人、製材所、山主、みなで山を訪れ、木の事を話し、無駄なく木を使う家づくりが理想」と栗本さんは言います。天然林の恵で生活していた頃に習い、必要な木だけを拓伐し、特徴を活かして売る。琵琶湖に注ぐ水源の山を持続的に活用できる林業を実践しておられます。

Check!

栗本林業

〒520-1433 滋賀県高島市朽木桑原 129
TEL 0740-38-5125 FAX 0740-38-5195
E-mail ringyou-k@zd.ztv.ne.jp



当センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた疑問にお答えしていきたいと思っております。

Q. 活動へ寄付を集めて応援者を増やしたいのですが、
何から始めればいいのでしょうか？

A. 自分たちの団体やグループを説明するために、活動を分かりやすくまとめたパンフレットや活動をうまく表現したキャッチフレーズを入れたチラシなどは作っていますか？寄付を集めるためには、まず活動を理解してもらうことがスタートです。活動を通して何を実現したいのか、思い描いている未来と、そのために取り組んでいる活動を理解してもらい、共感してもらうことが必要です。共感した方から「何かできることがあれば」と言っていただくことが第1歩です。「寄付でご参加いただくことができます」と、寄付を何に使いたいのか、年間の活動にどれくらい資金が必要で、どれくらい不足しているのかなど具体的な説明をします。全ての方がボランティアでの参加や会員としての活動ができるわけではありません。「寄付」は参加の一つです。少額でも寄付をされた方には、活動の経過や案内などをお知らせします。1回の寄付に7回の「ありがとう」を伝えようと言われています。継続的に活動へ関心を持っていただくことで、共感を深め、継続した参加につながります。寄付を集める活動を「ファンドレイジング」と言います。「ファン」を集める活動とも言えますね。

◎ 市民活動についての疑問、相談などお寄せください！

INFORMATION

市民活動の基本の「き」講座 ～会計のためのエクセルの使い方～

ボランティアグループや市民活動団体の運営にとって、会計の管理や決算はとても大切です。分かりやすく管理し、まとめるためにエクセルを使ってみませんか。ちょっと便利な使い方などもお伝えします。ご参加お待ちしております。

日 時：1月20日(水) 19:00～21:00
場 所：今津東コミュニティセンター ホール
講 師：斎藤富士夫さん(NPO法人湖南ネットしが理事長、シニア情報生活アドバイザー)

参加費：500円

定 員：20名

対 象：ボランティアグループ、市民活動団体、NPO法人の運営あるいは事務局の会計担当者で、パソコンの基本的な使い方、ワードやエクセルの入力方法を知っている方

持ち物：筆記用具、ノートパソコン(ノートパソコンをご持参いただけない方はこちらでご用意いたします)

◎お問い合わせは、たかしま市民協働交流センターまで。

今津東コミュニティセンター 展示会のお知らせ

今津東コミュニティセンターの1階ホール展示会のお知らせです。ご来場お待ちしております。

1月21日～2月8日 高島高校2年生 書道・美術・写真部展
2月10日～2月19日 瓢箪とあけぼの墨絵クラブ 合同展
2月20日～2月28日 高島高校3年生卒業展
3月1日～3月9日 押し花 作品展
3月12日～3月13日 春らん展

上記以外にも短期の展示などもあります。

1階ホールでの展示についてのお問い合わせは、下記まで。

お問い合わせ先：今津東コミュニティセンター
TEL：0740-22-3222
FAX：0740-20-5757

広告欄

人と環境にやさしいホテルを目指して



IMAZU SUN BRIDGE HOTEL

今津 **サンブリッジホテル**

〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津 1689-2

■ご予約・お問い合わせ 0740-22-6666 <http://www.sunbridge-hotel.co.jp>

※広告(横10cm×縦4.5cm)を募集しています。お問い合わせは右記までお願いします。

市民活動の基本の「き」講座 ～寄付を集めて活動を広げよう～

ボランティア活動や市民活動を進める中で、寄付を集めたことはありますか？

「寄付なんて集まらない」「自分達の活動にお金をくださいなんて・・・」「嫌がられるのでは・・・」。活動を続けていくために、多くの人に活動への思いや活動内容を伝えて、共感を広げていきますが、共感された方が全て参加できるとは限りません。そんな共感の気持ちを表す一つに「寄付」があります。参加の一つのカタチである「寄付」についてお話します。

日 時：2月4日(木) 19:00～21:00
場 所：今津東コミュニティセンター ホール
講 師：戸田由美さん(認定ファンドレイザー・高島市職員)
参加費：500円
定 員：20名
対 象：ボランティアグループ、市民活動団体、NPO法人の役員、スタッフ、寄付に関心をお持ちの方

◎お問い合わせは、たかしま市民協働交流センターまで。

市民活動団体の事務局支援サービスのお知らせ

市民活動団体やボランティア活動で講演会やイベントを実施する時、自宅を申し込み先にするなどで対応しておられることが多いと思います。メール申込みだけでなく、ファックスでの申し込みの場合、自宅のファックスが大変なことになっていませんか。

当センターで、ファックスの送受信や市民活動団体メールボックス(私書箱)をご利用いただけます。自宅で事務局運営されている団体で、お困りの場合は、ぜひ当センターにご相談ください。

- ファックス送受信 A4・1枚10円
- 市民活動団体メールボックス(私書箱) 利用無料
※数に限りがあります。

◎お問い合わせは、たかしま市民協働交流センターまで。

このページに関するご応募・お問い合わせはこちらへ

発行：たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1

(今津東コミュニティセンター内)

業務時間 月～金曜日(祝日を除く)9～17時

TEL 0740-20-5758 FAX 0740-20-5757

E-mail webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

HP <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

BLOG <http://tkkc.shiga-saku.net/>

◎Facebook、twitter やってます！

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も地域のちょっとした困りごとにも向き合い、みんなで支え合い、笑顔がつながっていくような地域社会をめざして、高島の元気を支えている市民活動の楽しさややりがいを、市民の皆さまにお伝えし、一人でも多くの方々が市民活動に参加するきっかけをつくることができればと思っています。本年もどうぞよろしく願いいたします。<(_)> (H)